

環境循環系の家づくり



九銘ハウジング(株)
営業 陣内将史さん

永く過ごす家は木造がいい！
でも地震や台風などが心配。
こうした要望を満たす画期的な家、本格鉄筋木造住宅であるピーウッドハウスシステムの家を紹介しよう。

九銘ハウジング(株)では、事業組合 ピーウッドの総代理店としてピーウッド（powood）ハウスシステムの家を推進している。モデルハウスに行ってみた。目に見える部分はすべて杉材が使われている。天井も高く、杉の香りが漂う高級木造住宅といった佇まいだ。ところが、全く目に見えないが、すべての柱に鉄筋が通っていて、優れた耐震性があるという。

担当の陣内さんに詳しくお話を伺った。

powood工法はどんな特長があるのでしょうか？

「まず、中空乾燥技術を用いている点です。これら高級材をしつかり乾燥させる技術です。乾燥は命です。乾燥が不十分だと、木の収縮や反り、腐食などを起こしやすく、

住まいの品質に大きく影響します。そこで、木材の中心部の芯をくりぬくセンターホール加工を施し、穴の中に熱風を通し、内側からも乾燥させます。この技術は特許を取得しており、表面と中心の乾燥度が変わらないため、縮みや歪みが起こらず、長期安定した家を可能にします。

でも、中に穴を開けると強度が弱くなると一見して思いますが、その点はご安心ですか？

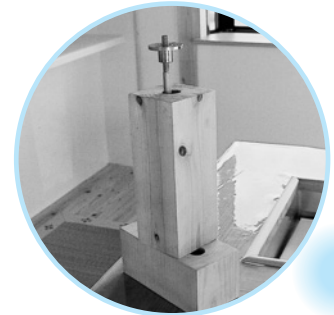
鹿児島県工業技術センターで、乾燥前の中空木材と芯持材の比較強度試験をしています。ほとんど差異はないことが分かりました。それに十分に乾燥した材の圧縮強度はコンクリート並みとも言われています。

なるほど。でもpowood工法にはさらに一歩進んだ展開があるそうですね。

「その通りです。実はこの材の中空に軸ボルトを通し、土台、基礎、そして横架材につながる締めています。これが強い耐震性を実現する源とな



オール杉材なのでシックハウス症候群、アトピーなどの心配が全くない



材の中空に軸ボルトを通し、土台、基礎、横架材につなぎ締めている

ついでです。
でも、軸ボルトが徐々にゆるむことはないのでしょうか？
「その心配はありません。
p-wood工法の軸ボルトは、元々地震などで起こる柱脚の浮き上がりを押さえる軸ボルトです。その軸ボルトは基礎から棟木まで一本で通っていて、最上部を「耐震ナッター」で締結しています。この耐震ナッターは、揺れが生じると、逆に締め付けていく働きがあります。この住宅の耐震性は福岡西方沖地震でも実証されています。」
こうしてお聞きしていると、p-wood工法は画期的な技術といえますね。さて、この住宅は工口住宅としても展開されていますね。どうしてですか？
「じつは、p-woodハウスシステムは、京都議定書に基づき、林野庁補助事業の適用を受けています。南九州産材を使っていますが、杉や檜を伐採した後は、植林を行い、針葉樹と広葉樹の木がバ

ランスよく育ち、自然の姿に近い森へ還していく計画です。これは地場産業の活性化にもつながりますね。そして補助金がありますので、高級住宅の相場から言えば、この住宅は安く提供できるようになっています。」
他にどんな特色がありますか？

「家具、ドアまで一貫して地元大川の製品を使っていることがあります。地場産業の発展にも寄与できることも特色だと思えます。それにオール杉材ですから、シックハウス症候群、アトピーなどの心配が全くない点も挙げておきたいと思います。」

ありがとうございます。
モデルハウスが大木町上八院に建てられています。興味ある方は一度ご覧になってはいかがでしょうか？

連絡先は担当の陣内さんまで
☎0944(88)2088